



RSウイルス感染症

現在こども園にて、RSウイルス感染症のお子さまが出ておりますので、お知らせいたします。気になる症状がありましたら、必ず病院受診をお願いします。

RSウイルス感染症

原因 → RSウイルスの感染によって起こる集団流行しやすい感染症。
特に1歳未満の乳児がかかりやすく、気管支炎や肺炎を起こす。



症状 → 鼻水やせきなどの症状で始まり、呼吸時にヒューヒュー、ゼーゼーといった音が出る。重症化すると危険な状態になることも。同じ人が、何度でもかかる可能性があるが、繰り返しかかるうちに少しずつ免疫ができていくため、大人がかかっても、鼻水・咳程度の風邪症状で治まるものがほとんど。

対応 → 1歳までに半数以上が、3歳までにほぼ全員が一度はかかる病気であるため、集団生活を送る園児の場合は「RSウイルスにかからない様にする」ことは難しいので、「RSウイルスにかかった時、どうするのか？」を考えていくほうが良い。今のところRSウイルスに対する根本的な薬はない。早めに受診し、こじらせないようにすることが第一。

登園の目安 → 熱以外の次のような症状がなくなっただけからの登園となります。

- ・呼吸するのもつらそうなレベルの咳
- ・食欲がない
- ・水分が摂れない

☆「咳エチケット」にご協力をお願いします☆

咳やくしゃみが出る時は、マスクを着用しましょう！
長引く咳には、注意をお願いします！

